

機動刑事ジバン (1989～1990)

メディア TV

ジャンル 特撮 アクション ヒーロー

製作国 日本

色彩 Color

1989/01/29 ~ 1990/01/28

TV放映 日曜日
9:30~10:00 / 8:00~8:30
テレビ朝日

【解説】

『ロボット刑事』や宇宙刑事シリーズをパクったといわれるSF映画『ロボコップ』の、さらにパクリ作品。セントラルシティ署のさえない新米刑事田村直人は、実は警視庁秘密捜査官警視正・機動刑事ジバンである。バイオ科学を駆使する犯罪集団バイオロンの手によって命を落とした直人は、五十嵐博士によって改造されジバンとなって甦ったのだ。

バイオロンの差し向けるバイオノイドと戦うとき、ジバンは対バイオロン法を暗唱。「場合によっては抹殺することも許される」の言葉とともに敵を斬り捨てる姿が痛快だった。変身シーンの描写が一切なかった珍しいヒーロー番組で、メタルヒーローの原点回帰的な作品と言える。しかし、後半に行方不明になった五十嵐まゆみを探し求めるという展開は見られたものの、全体としては冒険の要素が少なく、個性に欠ける結果となった。敵であるバイオロンがアットホームな描写で今までにない組織の形態を見せてくれた他、主人公を脅かすライバル的な存在としてジバンキラー・マッドガルボが登場、ジバンを苦しめる姿が印象的だっただけに惜まれる。

第31話では前作『世界忍者戦ジライヤ』の山地学が登場、作品世界をつなげた。

【クレジット】

監督	小西通雄 岡本明久 宮坂清彦 小笠原猛	
アクション監督	金田治 山岡淳二	(ジャパンアクションクラブ) (ジャパンアクションクラブ)
プロデューサー	宇都宮恭三 吉川進 折田至 堀長文	(テレビ朝日)
原作	八手三郎	
脚本	杉村升 藤井邦夫 高久進 扇澤延男 鷺山京子 荒木憲一	
キャラクター製作	レインボー造形企画	
キャラクターデザイン	雨宮慶太	

撮影	瀬尾脩	
特撮監督	矢島信男	
SFXアドバイザー	雨宮慶太	
美術	稲野実	
造型	前澤範	
編集	菅野順吉	
音楽	渡辺宙明	
アクション	金田憲明	(ジャパンアクションクラブ)
	横山一敏	(ジャパンアクションクラブ)
	関誉枝恵	(ジャパンアクションクラブ)
	内田博之	(ジャパンアクションクラブ)
	飯田則子	(ジャパンアクションクラブ)
	宮崎剛	(ジャパンアクションクラブ)
特技・操演	鈴木昶	((株)特撮研究所)
	尾上克郎	((株)特撮研究所)
特技・撮影	高橋政千	((株)特撮研究所)
特技・美術	佛田洋	((株)特撮研究所)
ナレーター	大平透	
出演	日下翔平	田村直人／ジバン
	間下このみ	五十嵐まゆみ
	伊豆肇	五十嵐健三 (ジバン開発者)
	石浜朗	柳田誠一 (ジバン・プロジェクト責任者)
	榎田路子	片桐洋子
	小西邦夫	村松清志郎
	レオ・メンゲテイ	ドクターギバ
	朝倉陽子	クイーンコスモ
	渡辺マリ	坂東課長
	河合亜美	マーシャ
	古川明美	カーシャ
声の出演	溝口綾	ハリーボーイ
	飯塚昭三	ドクターギバの声
	伊倉一恵	ボーイの声
	弥永和子	マッドガルボの声